

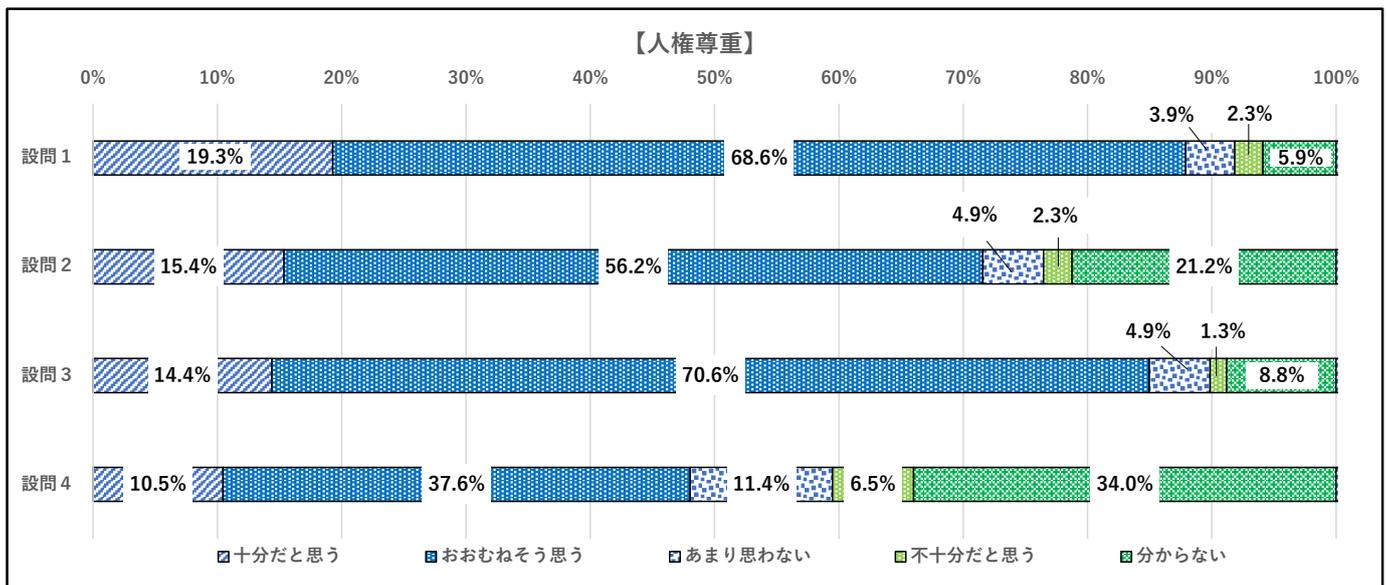
令和6年度「学校関係者評価アンケート」のまとめ

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜り、心から感謝いたします。

さて、保護者の皆様にお願いました「学校関係者評価アンケート」について、集約が整いましたので、お知らせいたします。本校の教育活動がよりよいものとなるよう、参考とさせていただき、課題の確認とその改善に努めます。

今後も、引き続きご支援をお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

回答… A…十分だと思う B…おおむねそう思う C…あまり思わない D…不十分だと思う E…分からない



【設問1】 学校は、自分や友達を大切にし、差別を許さない教育を行っている。

87.9%の方から肯定的な回答をいただきました。昨年度と同様の評価をいただいております。今後も「自分も大切。友達や周りの人も大切」のスローガンのもと、全教育活動を通して、自他の良さを認め、他を思いやる気持ちを育成します。また、課題があったときには学校全体で取り組み、早期解決に向けて、組織的に対応します。児童が安心して、楽しく学校生活を送れるよう努めてまいります。

【設問2】 学校は道徳の授業や学級活動を通して、いじめを許さない学級づくりをしている。

肯定的な回答が71.6%に留まり、昨年度より評価が下がっております。一方で21.2%の方が「分からない」と回答しており、学校全体の取り組みをお伝えする機会が少なかったのではないかと考えております。年3回のいじめアンケートの実施、実施後の聞き取り、個人面談等の対応について、保護者の方の理解が得られるよう、五小だよりや保護者会等でお知らせしてまいります。また、いじめに対する意識を高くもち、いつでも、どこでも起こり得ることだと受け止め、課題が見られた際には全職員で情報を共有し、学校全体で解決に向けて取り組みます。

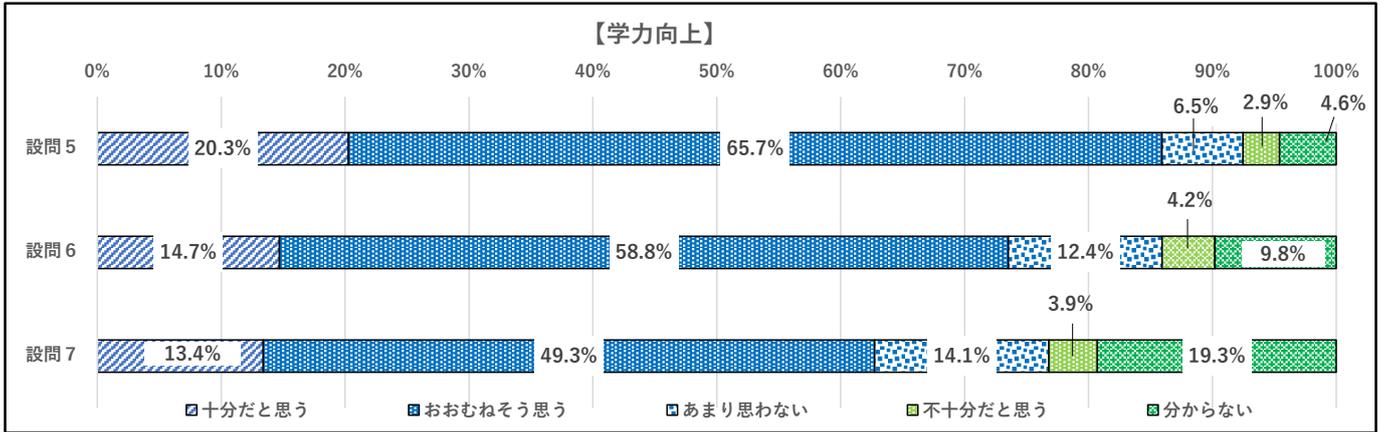
【設問3】 学校は、道徳の授業を充実させ、生命や友達を大切にすることを育てている。

85%の方から肯定的な回答をいただいております。道徳の授業を工夫をすることで、生命を大切にすることを育てる努力をしております。また、地域の方にご協力をいただいたり、地域の自然を活用したりして、体験的な活動を充実させております。「五小も地域も大切」という誰にとっても居場所があり、誰にとっても心地のよい学校を目指します。

【設問4】 学校は、特別支援教育を充実させ、一人一人を大切にしたい指導をしている。

全体として、肯定的な評価が約半数を占める一方で、否定的な評価や不確かな評価も比較的多く割合を占めています。これらの結果を踏まえ、学校は特別支援教育の質を向上させるための具体的な施策を検討し、保護者会等を通してその取り組みを理解してもらうための取り組みを強化することが重要だと考えております。

「学校関係者評価アンケート」 その2



【設問5】 先生は、読み・書き・計算などの基礎学力を付けるために分かりやすい授業をしている。

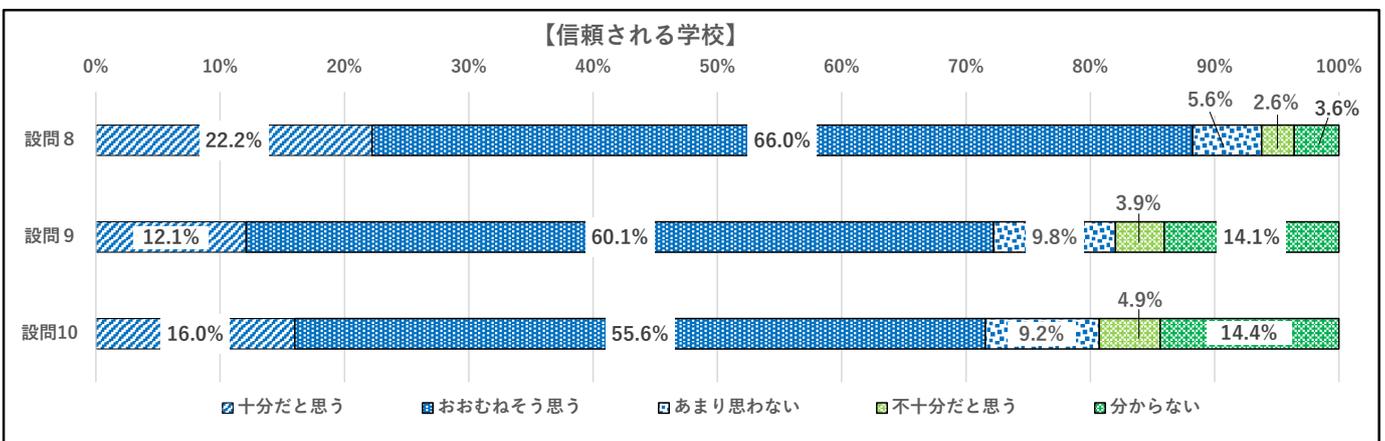
全体として、非常に高い割合の方が授業を肯定的に評価をいただいています。少数ながら否定的な意見も存在します。これらの結果を踏まえ、学校は、引き続き分かりやすい授業に取り組み、魅力ある授業作りをまいります。特に、自分の考えをもち、友達と対話を通して考えを深める場面を設定することで、協働して学ぶ機会を作ります。また、教員同士が互いの授業を見合ったり、交換授業をしたりして、指導の技能を向上していきます。

【設問6】 学校は、ICTを活用したり、授業を改善したりすることで「分かる授業」「楽しい授業」に取り組んでいる。

肯定的な評価が約3/4を占めており、学校のICT活用や授業改善の取り組みが多くの人に支持されていると受け止めております。しかし、「不明」と回答した人が9.8%いることから、学校の取り組みや成果をより分かりやすく学校だよりや学年だより等で発信する努力が必要と考えます。誰もが分かる授業の展開やICTを効果的に活用することで、学びの楽しさが味わえるよう努めてまいります。

【設問7】 学校は、言語環境を整えたり、学校図書館を積極的に活用したりして、児童に豊かな言語感覚を育てている。

去年と比較してみると肯定的な評価がほぼ同じである一方で、否定的な評価が昨年度27.8%だったのが18%と減少し「十分」と感じる人の割合が増加しております。今年度は、谷川俊太郎さんの作品を読む活動などの学校の取り組みが一定の効果を上げていてと感じております。これらの結果を踏まえ、学校は引き続き取り組みの質を向上させるとともに、図書館司書を活用した読書活動の工夫、国語の教材と関連付けた本の紹介及び並行読書などに取り組み、学校図書館を積極的に活用してまいります。



【設問8】 学校は、学校行事や地域行事を通して、地域のよさを味わわせるために体験的な活動を充実させている。

全体的に高い割合の方が学校の体験的な活動を肯定的に評価していただき、学校の取り組みが多くの方に支持されたのではないかと思います。今年度は、学校創立60周年行事を通し、地域のことを調べたり、五小の歴史に触れたり、校歌の作詞者である「谷川俊太郎」と繋がったりするなど、地域や学校の良さを学ぶ活動を充実させてまいりました。今度も自然豊かな環境を生かしながら、本校への愛校心を育む活動をしてまいります。

【設問9】 学校は、PTA・地域の方々と連携して、安全指導・安全教育を進めている。

7.2%の方から肯定的な回答をいただきました。本校では、PTAによるパトロールの継続、学校評議員、南中地区青少協と連携し、複数の目で児童を見守っております。また、地域や外部機関と連携しながら、児童が安全に生活することができるよう安全教育の推進にも努めてまいります。

【設問10】 学校は、保護者や地域から信頼されるよう日々努め、保護者や地域と連携しながら共に児童の教育にあたっている。

肯定的な評価が約7割を占めており、課題はあるものの保護者や地域との連携が指示されたと思っております。しかし「あまり思わない」「不十分」と回答いただいた割合も14.1%です。これらの結果を踏まえ、学校は引き続き信頼関係の構築に努めるとともに、教師の資質向上や能力向上を目標に掲げ、さらなる改善を図ってまいります。